



東京都における市街地整備のストック効果

ストック効果とは

道路・上下水道・公園など、公共の利益のためにつくられた社会資本(インフラ)を整備し、適切に維持管理することでその役割・機能は続いていく。その**整備された社会資本が機能することで生み出される中長期的な経済効果をストック効果**という。

区画整理事業による活力・にぎわいの創出 ～ 秋葉原駅付近土地区画整理事業～

利便性向上

ターミナル機能を向上させる 駅前広場の整備による効果

快適な空間・街並みの創出

道路整備による効果 (拡幅・電線類地中化・緑地化)

再開発事業と高速道路の協働まちづくり ～ 大橋地区市街地再開発事業～



都市機能向上

賑わいと魅力ある拠点の形成や国際競争力の向上を目指した既成市街地の街区再編を進めることによる効果

3. 様々なまちづくりの効果が発現・拡大

- 安心・快適な住環境整備.....区画道路拡幅、バリアフリー住宅の整備 等
- 防災性の向上.....木造建物の耐火建築物への更新、狭い道路の解消 等
 - 不燃化率(棟数ベース)が33%から 100% へ向上
- 賑わい・交流づくり.....ジャンクション屋上公園、公益施設集約化 等
- 景観・アメニティの向上.....目黒川沿いの緑地新設、電線類の地中化 等
- 環境への貢献.....公園等の緑によるCO₂吸収、住宅等の省エネルギー化 等
 - 約13,600㎡の緑を創出し、みどり率が 約36% へ向上

※公園や公益施設(図書館等)の整備については、まちづくり交付金を活用して、目黒区が実施しています。